

提言 9	地域コミュニティの再生	住民・地方自治体・企業・NPO等
<b>地域住民と多様な主体が連携した地域コミュニティの再生</b>		
☞ 取組項目 No.14 参照	ポスト 2015 防災枠組 優先行動 4 (効果的対応に備えた事前防災の強化と、復旧・復興の際のビルド・バック・ベター)	

- 岩手県の被災地においては、個別訪問や見守り活動など**応急仮設住宅等における支え合い体制の構築**などが行われており、**被災者一人ひとりに寄り添ったこうした支援は、地域住民の力に加え、若者、女性、企業、NPO、行政などあらゆる主体が連携して取り組んでおり、地域コミュニティ再生の大きな力となっています。**
- 特に、**高校生・大学生や社会人など県内外の多くの若者が、東日本大震災津波の直後やその後の復興の過程において、「自分たちにも何かできることがあるのではないか」との思いから、まちづくり活動やボランティアなどで活躍しています。**岩手県では、**若者たち自らが企画・実行する復興に関する優れた提案に助成する制度を創設するなど、若者を支え、若者の背中を押し、若者が活躍できる地域づくりを進めています。**
- また、**女性の力が復興と豊かな地域づくりには必要不可欠であり、岩手県では、復興に女性の視点を反映させるよう、岩手県の復興に関する事項を調査審議する「岩手県東日本大震災津波復興委員会」に「女性参画推進専門委員会」を設置するとともに、復興に男女共同参画の視点を取り入れることの重要性についての普及啓発に取り組んでいます。**
- このように、本格復興を進めていくうえで、**次世代を担う若者や女性をはじめとした地域住民が復興の主演となって、地域コミュニティの再生に取り組んでいくことが重要であり、若者や女性の活躍を支援していくことが必要です。**



生活支援相談員による見守り活動



若者の企画による野田村でのイベント

提言 10	地域資源の発掘・活用	地方自治体・企業・関係機関等
<b>地域資源の発掘・活用による持続可能な地域社会の構築</b>		
☞ 取組項目 No.15 参照	ポスト 2015 防災枠組 優先行動 4 (効果的対応に備えた事前防災の強化と、復旧・復興の際のビルド・バック・ベター)	

- 岩手県の被災地においては、生活基盤のみならず、**基幹産業である水産業が大きな被害を受けるなど、地域の社会資本の約半数を失い壊滅的な状況に直面しました。**こうした状況を克服するため、岩手県と沿岸市町村、関係団体が**一丸となって漁業の早期再生や産地魚市場を核とした流通加工体制の構築、まちづくりと一体となった商店街の整備、さらには地域の特色を生かした観光振興等、地域資源を活用した産業振興を進めています。**
- 岩手県が舞台となったNHKのテレビドラマ「あまちゃん」では、主人公アキが海女として、海に潜ってウニを獲り、そのウニを弁当に加工し、ローカル線の鉄道車内で販売しており、その情報がネット動画で全国に広がり、若者が鉄道に押し寄せるシーンがありました。
- このように、農林水産物や観光資源など、**地域にある多様な資源を発掘し、磨き上げ、付加価値をつけて、地域の外とつながりながら地域振興を進めていくことを、岩手県では、「アマノミクス」と呼んでいます。**復興を進めるためには、**持続的で安定的な社会経済基盤を再構築する必要があり、そのためには「アマノミクス」のような取組が必要です。**



沿岸地域の生活インフラであるとともに観光資源でもある三陸鉄道



震災語り部団体のスキルアップ研修